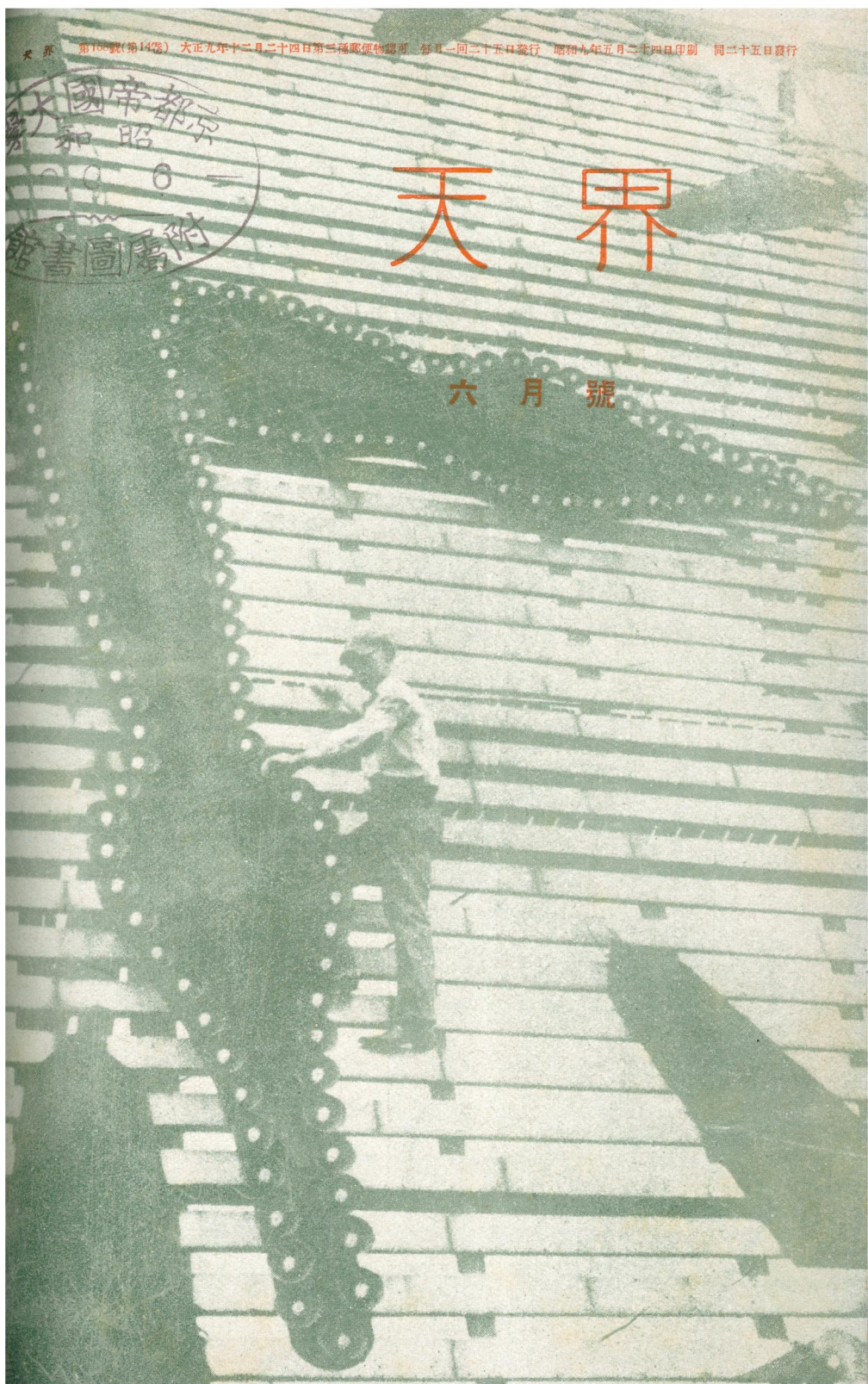


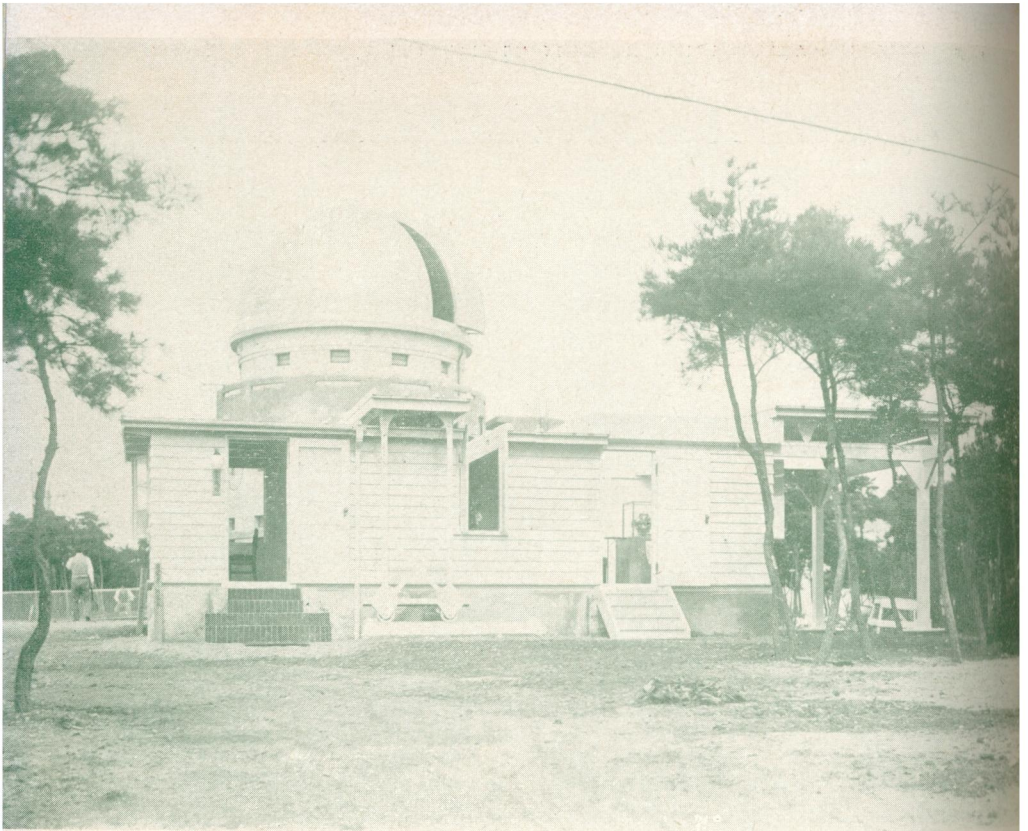
天界 第108號(第14卷) 大正九年十二月二十四日第三種郵便物認可 每頁二回二十五日發行 昭和九年五月二十四日印刷 同二十五日發行

大國帝都京
和昭
〇〇〇
附屬圖書館

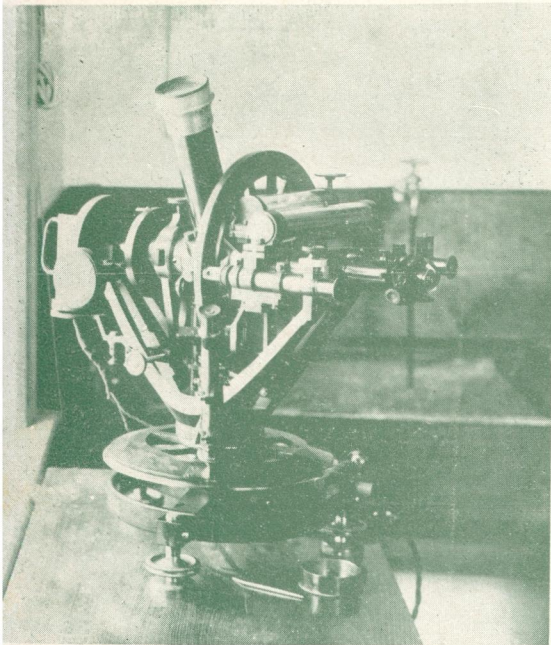
天界

六月號

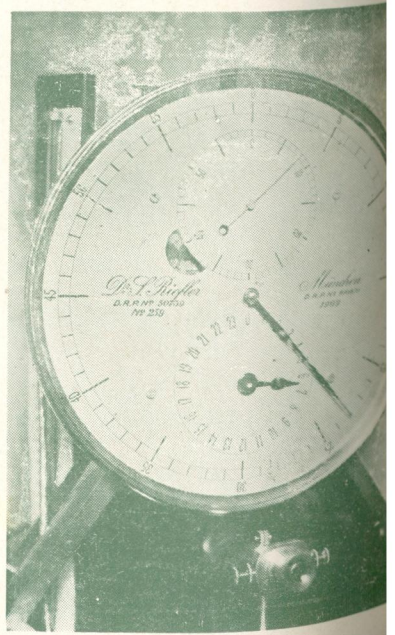




時の観測をする花山の子午線館



時刻観測に用ゐる経緯儀



リフラー標準時計

昭和九年六月例會は下の如く開きます。好い時候になりましたから例により遠近より會員諸氏の來會を歓迎します。

時日： 六月二十三日(土曜)午後三時

場所： 京都帝國大學花山天文臺

電車は東山通仁王門にて乗り換へ、東行し、「蹴上げ」で下車、それから東海道筋を五丁ほど東進し、「花山道路」に入る。

又は、三條大橋から「花山道路」入口まで乗合バスあり。

當日、參集會員諸氏の興味ある講演があります。又、其の夜は天文臺公開があります。

天界 第五百五十八號 (第十四卷) 昭和九年六月號 要目

ジャシ市の大時計, ブラジル支部の人々より [繪寫眞]

編輯室より	281
原子は人工により變轉す講演(完)	理學博士 荒勝文策... 282
多藝な時計の話	理學博士 山本一清... 287
二十四時制來らん	290
二つの古時計	291
博物館にフクロ振子が出來た	292
Moon Light Saving Time	293
タイムコンバタールの作り方	故 蓮沼左千男... 294
「天文用語に關する私見」を讀みて	高知 篠崎長三... 298
花山だより	299
研究欄	東亞天文協會觀測部の欄○流星課○寫眞課○黃道光課○太陽課○彗星課○變光星課○遊星面課... 300
	學界展望 Zeitschrift für Astophysik, 1930-1932... 308
北米旅行記(8)	理學博士 山本一清... 313
昭和九年六月の天象	318

Contents of the HEAVENS, No. 158 (June 1934)

Great Clock at Jersey City, (Covers); Staff of our Brazil Branch (Frontispiece); Editorial (281); *B. Arakatsu*, Artificial Transformation of Atoms (282); *Issei Yamamoto*, Story of the Bofors Clock (287); The 24-hour System (290); Two Old Clocks (291); Foucault Pendulum in Tokyo Science Museum (292); "Moon Light Saving Time" (293); *Late S. Hasumura*, How to Make a Time-Converter (294); *N. Shinosaki*, On Astronomical Terms (298); *Kwasan* Notes (299); Columns of Observing Sections, O. A. A. (300); Literatures on Astoronomy (308); *Issei Yamamoto*, My American Tour, viii (313); Heavens of June 1934 (318).

東亞天文協會觀測部 (Observing Section, O. A. A.)

大正十年九月に組織されたもので、會員中の實際天文研究に興味を有する者より成る。今下記の十課に分れてゐる。

1. 流星課 (課長 小横孝二郎)
2. 彗星課 (課長 柴田淑次)
3. 變星課 (課長 小山秋雄)
4. 太陽課 (課長 上島昇, 幹事 山本英子)
5. 黃道光課 (課長 荒木健兒, 幹事 淺野英之助)
6. 豫報課 (課長 山本一清)
7. 機械課 (課長 木邊成麿)
8. 寫真課 (課長 龜井壽彦)
9. 遊星面課 (課長 山本一清, 幹事 木邊成麿, 宮本正太郎)
10. 掩蔽課 (課長 高城武夫, 幹事 太田量平)

東亞天文協會觀測部規定 (昭和6年11月22日決定)

- 第一條 本觀測部ハ東亞天文協會ノ目的ヲ達スル爲メノ一事業トシテ、天體ノ觀測研究ヲ行フ。
- 第二條 本觀測部ニ下記ノ若干課ヲ置ク。
流星課、彗星課、變星課、太陽課、黃道光課、豫報課、機械課、寫真課、遊星面課、掩蔽課。
- 第三條 課長ハ部長ノ監督ノ下ニ、各課ノ事業ヲ統括シ、幹事ハ課長ヲ補佐スル。
- 第四條 東亞天文協會會員ハ希望ニヨリ本觀測部員トナル事ガ出來ル。
- 第五條 部員ハ觀測上ノ必要ニヨリ課長ノ指導及ビ種々ノ印刷物ノ配布ヲ受ケル。
- 第六條 部員ハ部費トシテ東亞天文協會々計へ月十五錢ノ割デ年末マデノ分ヲ前納ノ事。

東亞天文協會(舊名天文同好會)規則摘要(昭和7年10月15日改正)

天文學ノ研究及ビ會員相互ノ親睦ヲ増スノガ目的デアル

本部ヲ京都帝國大學花山天文臺内ニ置ク 又會員密集ノ地ニハ支部ヲ置ク
會ノ事業

- 一. 講演(例會毎月一回、總會年一回、其他臨時會)
- 二. 講習(各地デ臨時ニ開ク)
- 三. 雜誌圖書ノ出版(雜誌“天界”ハ毎月會員ニ無代配布、圖書ハ隨時)
- 四. 研究見學及ビ實地觀測(本會ニ觀測部ヲ置キ、別記ノ規約ニ依ル)
- 五. 天文臺ノ經營(會員ニハ特權ガアル)

會員 此ノ會ノ目的ニ賛スルモノハ誰デモ入會ガ出來ル。會費ハ每曆年度ニツキ前納金參圓トスル。但シ中途入會ノ場合ハ月參拾錢ノ割デ年末迄前納ノ事

維持會員 本會ノ經營ヲ支持スル趣意デ毎年金貳拾圓以上ヲ獻出スル者

名譽會員 一時金壹百圓以上ヲ寄附スル者及ビ總會ニ於テ特ニ推舉セラレタ者

役員 會長 副會長 會計監督 各一名 幹事 二名 會計 一名

評議員 若干名 役員ノ相談相手トナル

東亞天文協會

會員に關する報告 (4月1日—5月9日)

(入會)

上條勝治	東京市中野區新井町493
五中天文研究會	東京市石川區鴛籠町 東京府中第五中學校内
古川一夫	和歌山縣有田郡保田村字千田1903
齊木一郎	札幌市豐平町三條九丁目
渡邊襄	廣島市翠町七寶通1586
足立籍二	兵庫縣西宮市津門西ノ口
廣内貴志	岡山縣御津郡白石村今保
大島幹造	岡山縣淺口郡玉島町柏島、半田紡績内
重村力	山口縣豐浦郡長府町印内

(轉居)

藤森登志子	函館市人見町43 辻方
古畑正秋(元松本)	東京府下三鷹村深大寺 有田方
坂本鐵馬	鹿兒島市鼓川町63
西川英男	大阪市住吉區阪南町中三丁目21
中島慶輔	大阪府豐能郡豐中町 松内ナカ方
眞田安夫	廣島市上柳町34
山口驪	長野市名古屋遞信局工務課出張所
松枝孝治(元岡山)	東京市澁谷區原宿三の271 眞田方
福井實(元大阪)	廣島市皆實町 廣島高校寄宿舎
中井千方驕(元東京)	廣島市上柳町46
魚返隆(元鹿兒島)	熊本市大江町九品寺115 吉田方
山田長	山口縣玖珂郡柳井町大正通
平野四十男(元京都)	神戸市林田區千歳町一丁目75
富永保	滿洲國鐵嶺小學校
中井正(元京都)	名古屋市西區西菊井町七の13 加藤方
藤松吉次(元新潟)	京都市下京區朱雀正會町24
柴原愛子	大津市膳所本町丸ノ内

(轉居並びに改姓)

藤森登志子氏(元函館)は下記の如く變更されました。

鳥飼登志子 滿洲國, 新京, 大同學院, 鳥飼健方

(逝去)

會員 長谷秋男氏(廣島)同寺尾勝年氏(岡山)が逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。

注意 移轉通知を御送り下さる方は、新住所に必ず前住所を並記されたし。會員名簿整理の都合上、新・舊住所御並記なき場合「天界」下着に終る事あるべし。
(事務室)



ブラジル通信

一同の寫眞をお目にかけ度存じましたが、急の間にも合ひかねましたので、昨年のもをお目にかけることにいたします。

臺灣の生蕃によく似て居りますが、皆正真正銘の日本人であります。この通り、年中九分通りはうれしさうに暮しております。向つて右から

神屋 信一	次女 法子	長女 良子	
青年會長 森君	愚妻 八重	勝浦 茂雄	夷塚 君
老 母	中村 君	大窪 文秀	

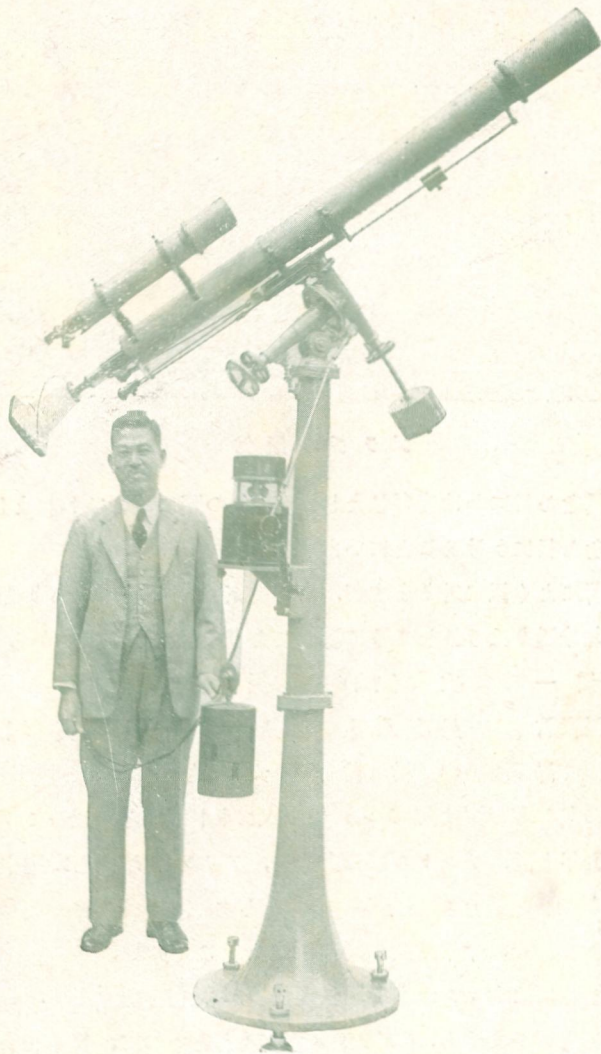
この寫眞の左の方の樹は ラランヂャといふネーブルと同様のミカンの樹です。大正十五年七月、サントス港で上陸し、アリアンサに向ふ途中の汽車の中で食べたものの種子を播いたものであります。去年は大きな美味しいミカンが澤山なりました。今年は枝も折れる位なつております。

右の方にある樹は木ワタの木で、秋四月頃から花を開きます。日本の櫻を見るのと少しも變りません。「ブラジル櫻」などといつて、日本の春の四月の花を聯想して故國をしのびます。名はバイネーラといひます。

Goto's
Astronomical Telescopes.

式 藤 五
天 體 望 遠 鏡

型 錄 進 呈



十 糎 赤 道 儀

倍 率 三 八 一 — 三 七 五

附 屬 品

運 轉 時 計 ・ サ ン ア ン ド ム ー ン カ メ
ラ ・ コ メ ッ ト フ ァ イ ン ダ ー 其 他 完 備

五 藤 光 學 研 究 所

東 京 市 世 田 谷 區 弦 卷 町 一 丁 目 一 四 二
電 話 世 田 谷 三 〇 五 〇 振 替 東 京 七 三 二 五 五